

いのちとくらしをまもる  
防災減災令和6年11月27日  
九州地方整備局  
宮崎河川国道事務所

「都城志布志道路」都城IC～乙房IC間が  
令和7年2月15日（土）16時に開通します！

○都城志布志道路は、日本有数の畜産地である都城市と国際バルク戦略港湾である志布志港を結び物流効率化による地域産業の活性化や新たな企業の立地による雇用促進および広域的な医療活動などを支援する道路です。

○この度、都城IC～乙房IC間（延長5.7km）において、下記の通り、開通することとなりましたのでお知らせいたします。

■開通日時：令和7年2月15日（土）16：00～

○また、開通に先立ち、下記のとおり「開通式典」の開催を予定しております。

■開通式典

- ・ 日時：令和7年2月15日（土） 10：00～（受付 9：00～）
- ・ 会場：乙房インターチェンジ内 ※「別紙1」を参照
- ・ 主催：九州地方整備局 宮崎河川国道事務所、宮崎県、都城市
- ・ 内容：来賓祝辞、テープカット等

<報道関係者の皆様へ>

- ・ 現地で取材・撮影を希望される場合は、別添①「送信票」による事前申込をお願いします。

○開通により期待される主な効果

- ・ 物流効率化 全国1位の畜産業など地域産業を下支え
- ・ 雇用促進 交通拠点の結節により地域経済が発展
- ・ 医療支援 県境を越えた地域医療を支援
- ・ 混雑緩和 走行性・安全性の向上と環境負荷の軽減

○問い合わせ先：国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所

【総括】技術副所長	なかしま のぼる 中島 昇
【式典関係】総務課長	はたなか たかひろ 畠中 貴浩
【事業関係】工務第三課長	さるさわ そういちろう 猿澤 宗一郎

TEL：0985-24-8221（代表）

みやこのじょう し ぶ し みやこのじょう おとぼう  
**「都城志布志道路」都城IC～乙房IC間 位置図**

広域位置図

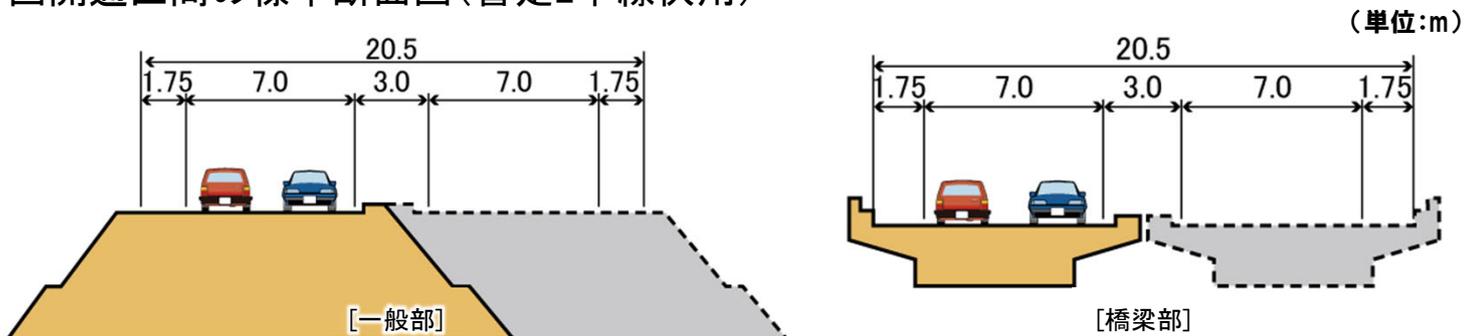


位置図



※都城IC～乙房ICの間にあるIC名称は「高木IC」「おきみずIC」に決定しました。

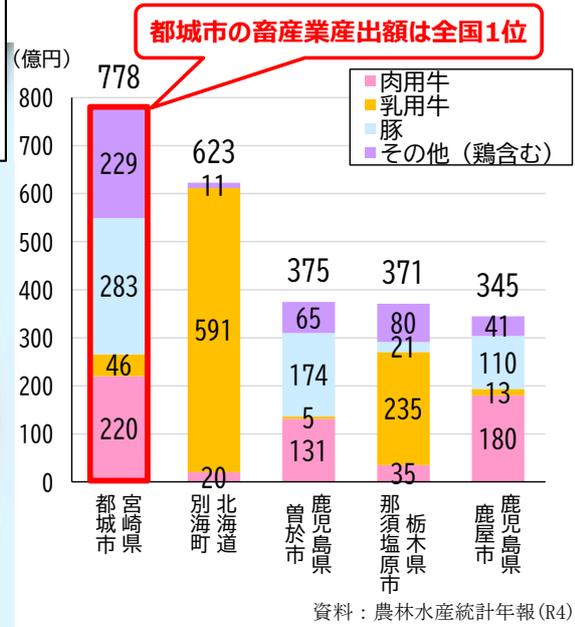
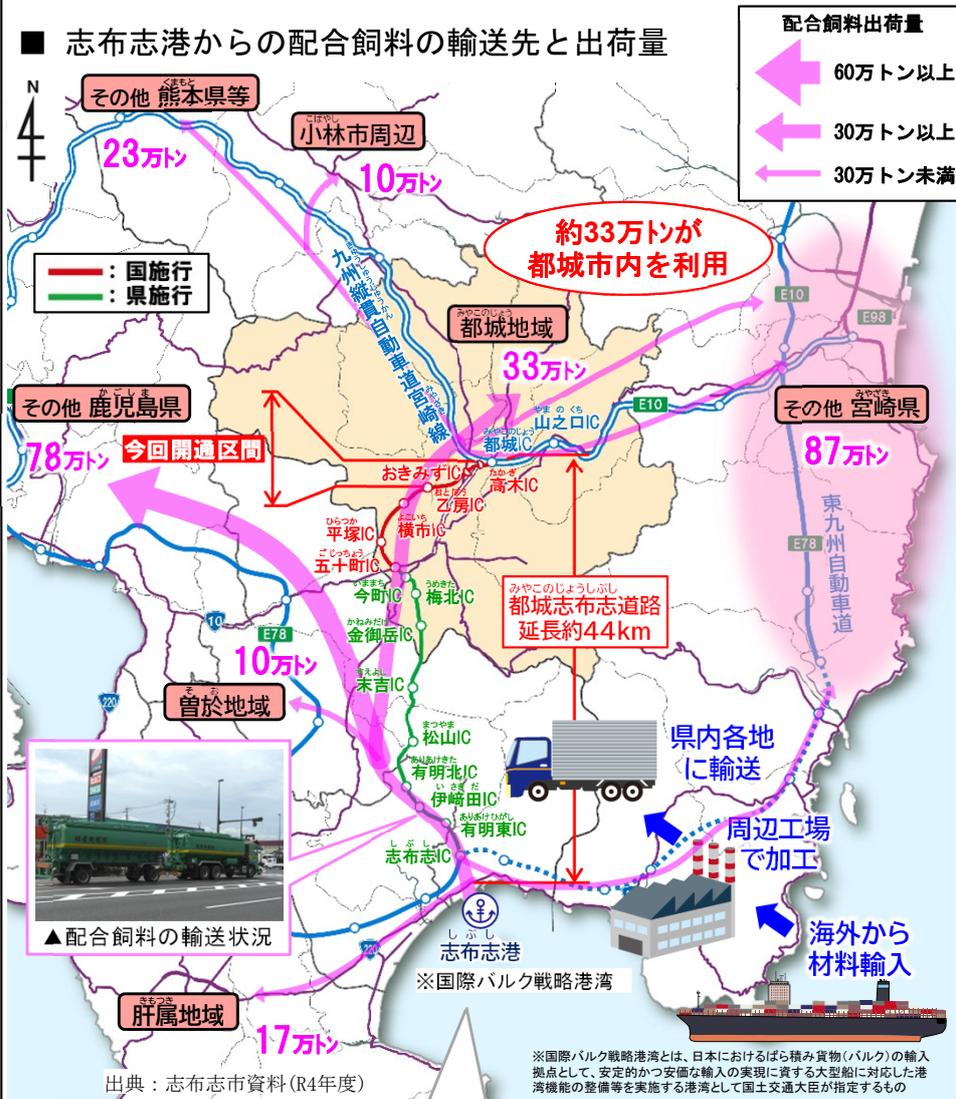
今回開通区間の標準断面図(暫定2車線供用)



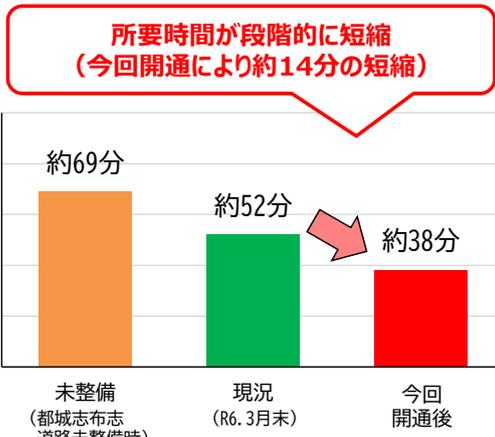
- 都城市の畜産業産出額は全国1位(令和4年)となっています。
- 志布志港は九州最大の飼料ターミナルであり、志布志港周辺の工場から都城志布志道路を利用して配合飼料(家畜のえさ)を九州各地に輸送しています。
- 今回の開通により、志布志港～都城IC間の輸送時間が更に14分短縮されるなど、地域産業の活性化を支援する速達性の高い物流網が構築されます。

志布志港から多くの配合飼料を都城地域などへ運搬

■ 志布志港からの配合飼料の輸送先と出荷量



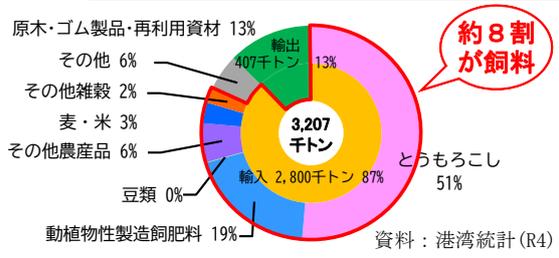
▲畜産業産出額(上位5位)



▲所要時間の変化(志布志港～都城IC間)



▲志布志港バルク荷役状況



▲志布志港の取扱貨物量(輸入・輸出)

【飼料輸送業者のコメント】

- 都城志布志道路の整備に伴う輸送時間短縮に伴い、1台での輸送回数が1日1回から日によっては2回に増加するなど輸送が効率化されてきました。
- 志布志港からの飼料輸送では、今後の都城志布志道路の整備により混雑する市街地の通過がなくなることで、大幅な時間短縮、円滑な輸送にとても期待しています。
- 乙房ICまでだと大型車は利用しにくい状況でしたが、本区間が整備されることによりかなり便利になり運送時間の大幅な短縮に役立つと期待しています。

(宮崎県トラック協会ヒアリング：R6.10)



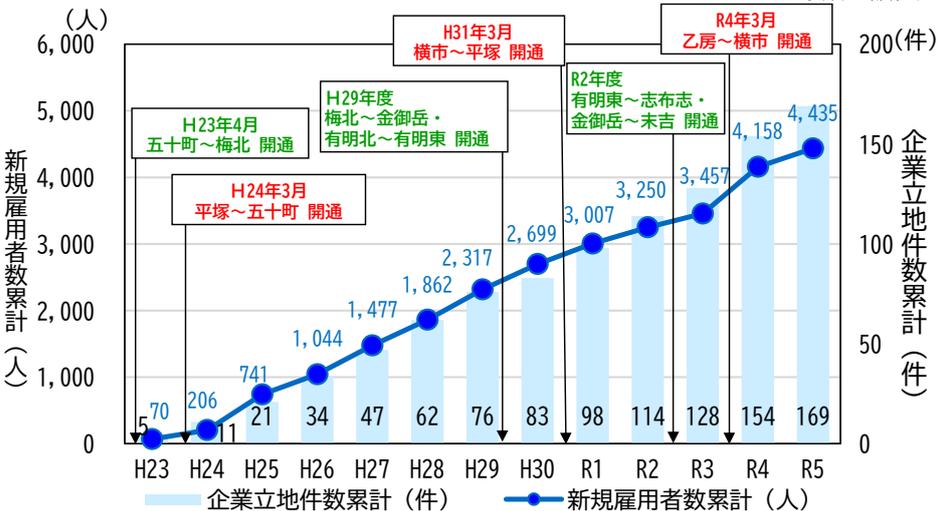
- 都城志布志道路の整備に伴う物流環境の向上も後押しとなり、都城市では平成23年度以降169社の企業が進出し、約4,400人の新規雇用が創出され、企業立地が進んだ地域の小学校児童が大幅に増加しています。
- 今回の開通により、九州縦貫自動車道と東九州自動車道を結ぶ強靱な高規格道路ネットワークが形成されることを見据え、交通結節拠点である都城ICや志布志港周辺では、新たな工業団地の造成が行われており、今後、更なる定住人口の増加や地域経済の活性化が期待されます。

企業立地・雇用促進により持続可能な生活圏を維持

《位置図》



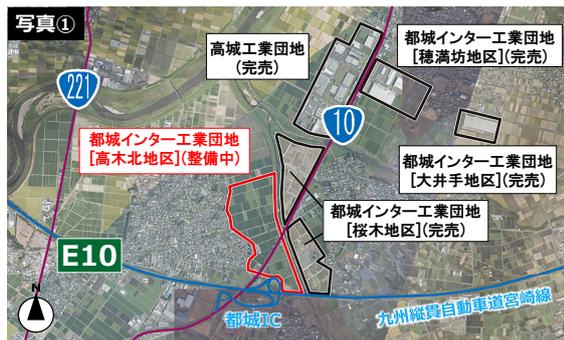
資料：都城市



赤文字：国施工  
緑文字：県施工

資料：都城市企業立地課

▲都城市の企業立地と新規雇用者数



資料：都城市

▲都城IC付近の工業団地の立地状況



資料：志布志市

▲志布志港付近の整備状況

更なる企業進出に期待！

都城市の企業立地促進策

【立地企業への優遇措置】

工場や流通施設等を新設、増設、移設する事業所に、固定資産税の免除(3年間)、雇用奨励金の助成などの優遇措置を実施

【都城市役所のコメント】

- 本市の企業立地件数は、近年、増加傾向にあり、好調です。
- 本市が選ばれる一番の要因としては、九州縦貫自動車道宮崎線や国道・主要地方道が交錯する交通の要衝である点が大きく、大隅半島、宮崎県南部をカバーする都城志布志道路の整備は、企業進出の後押しとして非常に重要な役割を担っています。

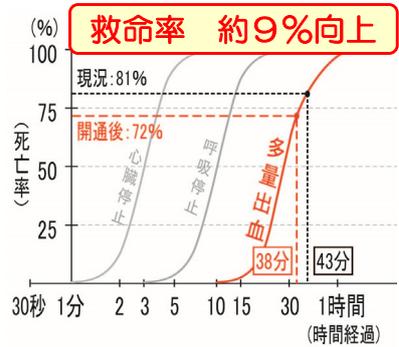
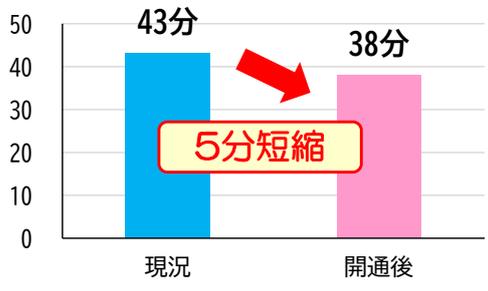
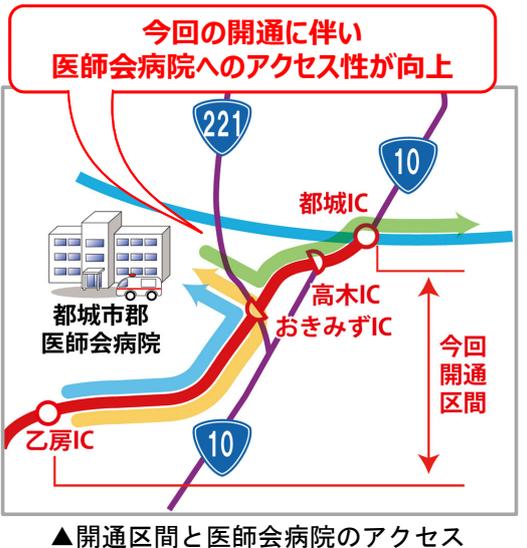
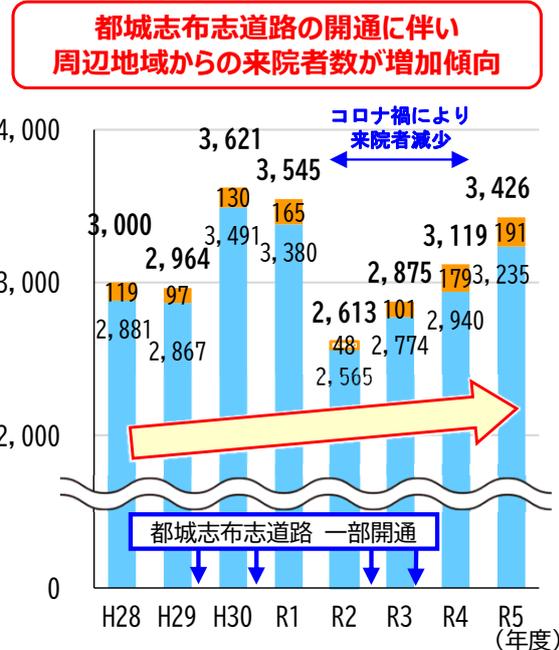
(都城市企業立地課ヒアリング：R6.10)



- 都城市郡医師会病院では、都城志布志道路の段階的な開通に伴い、市外・県外からの来院者数が増加傾向にあります。
- 都城志布志道路の開通により、県境を越えたサービスレベルの高いシームレスな高規格道路ネットワークが形成され、志布志市から都城市郡医師会病院へのアクセス時間の短縮による救命率の向上が図られるとともに、第三次医療施設への円滑な搬送に寄与するなど、地域医療を支援します。

都城市郡医師会病院への市外、県外からの来院数が増加

都城市郡医師会病院への  
来院・搬送状況 (R5年度)



現況：R3道路交通センサス混雑時旅行速度より算出  
開通後：都城道路の規制速度より算出

▲志布志市役所～都城市郡医師会病院の所要時間と救命率

【都城市郡医師会病院のコメント】

- みやこのじょうきたもろかた  
○都城北諸県医療圏（都城市，北諸県郡三股町）のほかに、隣県の曾於・志布志医療圏からも多くの患者が来院し、当院が医療サービスの拠点となっています。
- 都城志布志道路の開通により、救急搬送時に迅速に移送できるだけでなく、ドクターカー運用の効率化や通院がしやすくなるなど、救命率の向上や早期加療による重症化防止に期待しています。
- また、南海トラフ大地震等の大規模災害時において、志布志市、日南・串間方面の沿岸部からの傷病者受入れや、災害派遣医療チーム（DMAT）の移動ルートとして、早期の全線開通が望まれます。

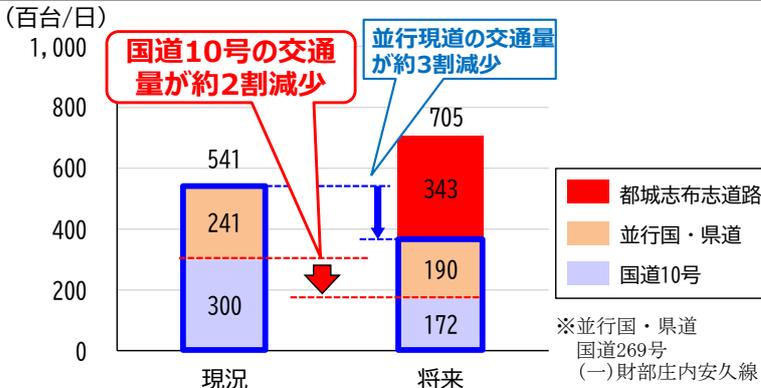
（都城市郡医師会病院ヒアリング：R6.10）



- 並行する国道10号の市街地中心部の平江(仮)～甲斐元交差点では、旅行速度が20km/h程度に低下するなどの慢性的な渋滞が発生しています。
- 都城志布志道路の整備により、国道10号の交通が転換することで、都城市街地の交通混雑が緩和され、渋滞に起因する追突事故の減少や環境負荷の軽減が期待されます。

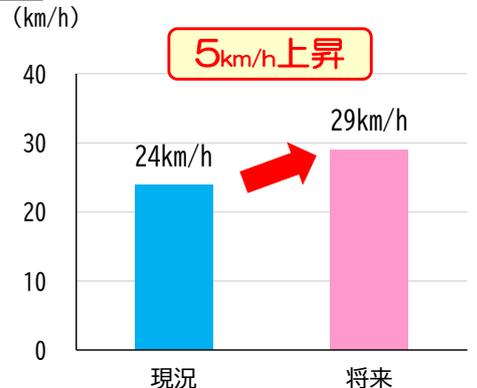
国道10号の交通量が約2割減少、市街地の交通混雑が緩和

国道10号の主要渋滞箇所(都城市街地)



資料：(現況) 全国道路・街路交通情勢調査(R3)，(将来) 交通量推計結果(R12) 都城志布志道路、国道10号、並行国県道2路線 (図示断面①)

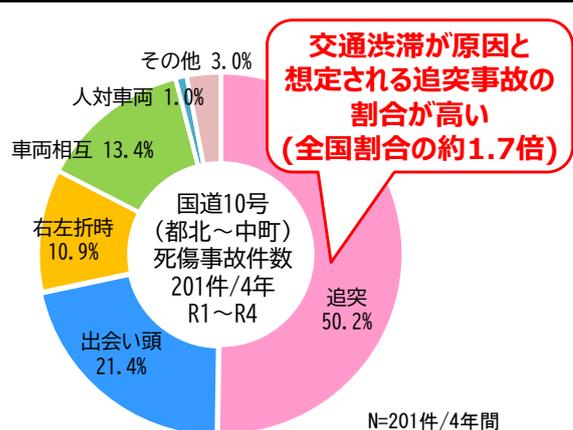
▲主要路線の交通量の変化 (断面①)



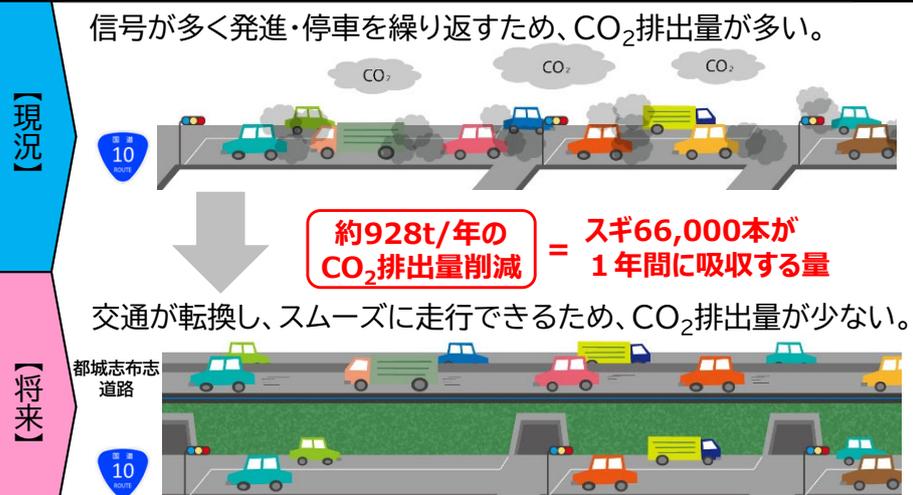
資料：(現況) ETC2.0プローブデータ(R5.4～R6.3) (将来) 交通量推計結果(R12)

▲旅行速度の変化(平江(仮)～甲斐元交差点間)

国道10号の交通量減少による交通事故の減少及び環境負荷の軽減に期待



▲並行国道10号の事故類型 (都北交差点～中町交差点)

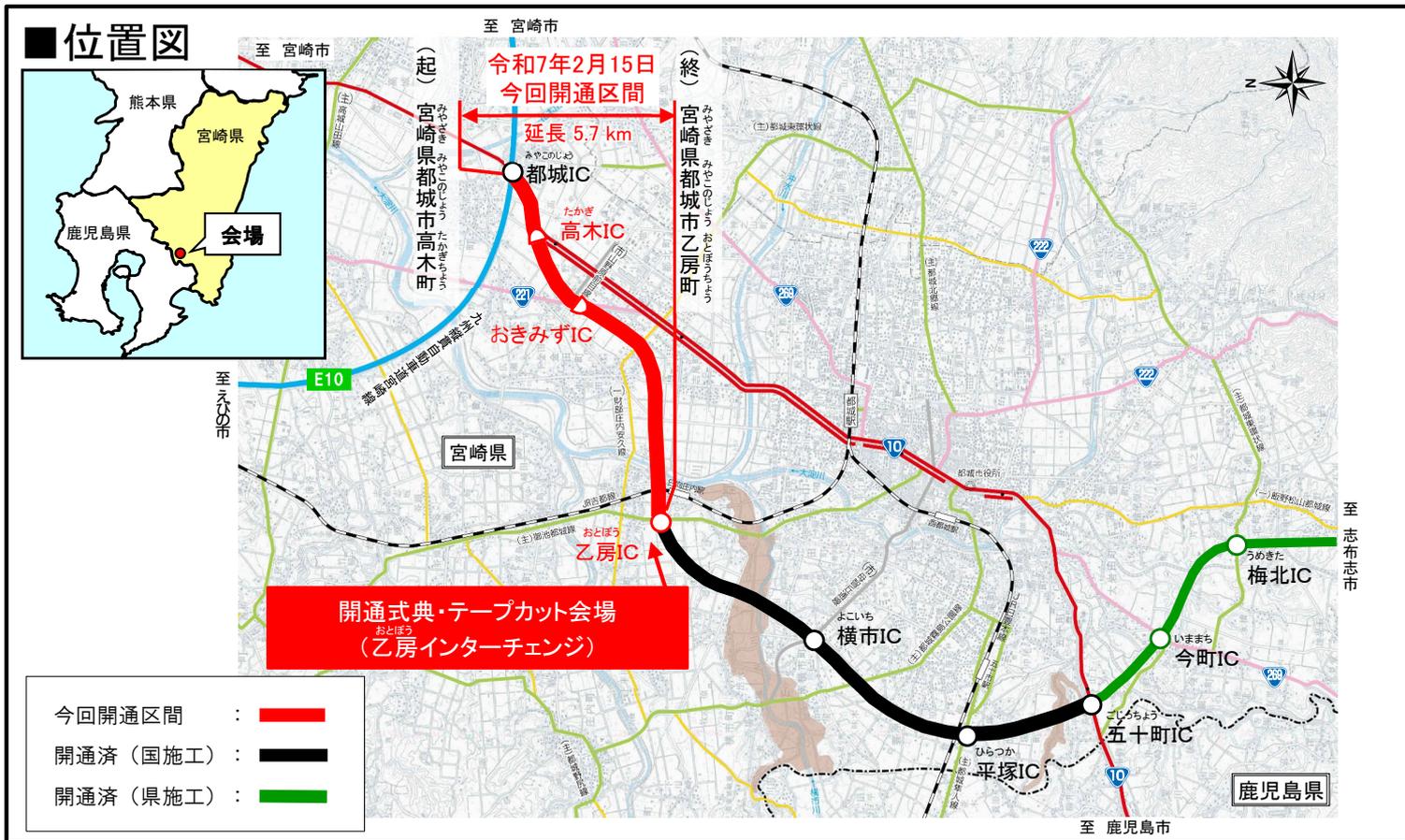


資料：令和3年事業評価監視委員会(現況(R3)、将来(R12))

**開通式 式典位置図**

■日時: 令和7年2月15日(土) 10時00分～(受付9時00分～)

■場所: <sup>おと ぼう</sup>乙房インターチェンジ内 ※駐車場をご利用の方は、別途案内します。



※報道関係者用

令和6年 月 日

国土交通省 九州地方整備局  
宮崎河川国道事務所 総務課 宛  
(FAX: 0985-24-8350)

「都城志布志道路」都城 IC～乙房 IC

開通式の開催について

【開催日: 令和7年2月15日(土) 10:00～】

◆開通式(乙房インターチェンジ内)

機関名	参加(来場)人数	車台数	代表者連絡先
	名	台 (車種)	所属(部署)  氏名  連絡先(住所・TEL)

参加者ご記名欄

(参加者全員、フルネーム)


※手書き記入で結構です。

※別途、事前申し込み頂いた連絡先に、当日の駐車券などを送付致しますので、  
12月20日(金)までに申し込みをお願いします。

※会場(駐車場)へお越しの際は、車両前方から見えるフロントガラス付近に駐車券  
を置いてください。

※当日の取材について、係員の指示に従い所定の場所に駐車をお願いします。